平成27年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)														
事務	務事業名	建築指導に要する経費							会計一般	款 8	項 1	目 2	多額経費	
	 政策	22	快適な暮らし	 の環	境をつ	くります	<del>-</del>		担当課室	建築	·····································	さ課	<u> </u>	
	施策		221良好な	i住 <sup>5</sup>	この整備	 情			担当課室長	浮ヶ	谷	勝詞	Ę.	
I 改革	.•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	るたと	めの方気	轰)								
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に 基づく	建基法及び発生させる。	建リ法のパトロ-	−ル件数を向		③平成度に取改革・i	)審査 ハ、工事	法に基づく申請に対する 査及び現場検査等を確実 事完了検査の実施率を							
取組み 結果	220%増加し	•	成20平及比(		1112		目標以上とす			୨ <b>ତ</b> ୃ				
Ⅱ事務	事業の目的・	概要					ı							
①目的	対象	計者、不動産業	建築計画等に係る市民、設 意図(対象をどう するのか)						交付率、是正率を向上させる。					
	・建築基準法、建設リサイクル法、省エネルギー法、低炭素法等に基づく各種申請に対す 務事業の概要 ・建築物に全般に関する相談								する					
からの状況 見込み・市	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)	<ul><li>環境負荷低洞れる。また、相同</li></ul>							目談等の	の増加	加が	見記	込ま	
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況												
①平成2 業の成界	6年度の事 そ	確認件数が前にない。 反指導についる					が前年	度比22	20%増	加とフ	なった	<i>t</i> =.	違	
②成果			票名称	平成24 平成25 平成26 単位 年度 年度 年度 年度 年度 日本					位 算定根拠					
を表す 指標	i	建築確認申請件数 建基法及びリ法パトロール件			456 105	642 64	464 141							
	iii													
		平成25年度決算			成26年				な内訳	平成	,27年			
事業費(-		1,620	1,63		金額(千	一円)		内容					5,659	
	出金(千円)	0		0								2	2,009	
	出金(千円) その他(千円)	0 0		0 0									0	
	<u>オ源(千円)</u>	1,620	1,63										3,650	
IV 評価		1,020	1,00	-									,,,,,,,,,	
	目的に対す	検査済証交付	率の向上と相	隣間	トラブノ	レの対	心							
②評価		i 市関与の妥当性 3高い ii 有効性 3高い			iii 公平性 3高い iv 効率性 2普通				- <mark>∨総合評価</mark> 6精査・検				検証	
③上記記	平価の理由	法律に基づく業	終であるが、	窓口	1業務の	対応ス	ち法など	ご検討な	が必要	なた	め。			
V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況														
	6年度の計画					成26年	度事業 予算額		犬況(単 		千円 算額			
	対する事業実績						当初 H25⇒26繰越		0	H25か	から			
③達成物	<b></b>					0	補正		ľ	現年	- 公			
④未完了·	・非着手の理由			平点	t27年度への	)繰越額(単	流用·充当			九十	- 71			

_	2	呼成27年度 銵	・ ケ谷市事務事	業記	平価表	(事後)	(標準	評価表	)				
事務	务事業名		住宅耐震改	修促	足進事:	業			会計	款	項	目	多額経費
									一般	8	1	2	0
	政策	23安全	に暮らせる社会	生会システムをつくります <sub>担当課室</sub> 建築住宅							宅課	į	
	施策		233防災対	対策の強化 増増課業 浮ヶ谷 勝美									ŧ
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ため	の方気	長)							
①前回 の評価 で掲げ た内容	申請件数やする。	<b>目談会参加</b> 者数	女の増加を図	③平成27年 度に取組む を図るため、周知方法等を検討す									
②①に 基づく 取組み 結果	人) ・耐震改修補 から4件)	会の参加者増加(16人から24補助事業の申請件数減少(8件			改革・改善を図るだめ、				、向知力法寺を使討「				
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要											
①目的	対象		図(対象 のか)	をどう	旧耐窟 及び改	髪基準の な修	の木造 <sup>ん</sup>	住宅	の而	付震:	診断		
②事務事	事業の概要		1日以前の旧耐 事費の一部を補 会を実施するこ	助し	、また、	、地元建	建築関係	を 団体か					
からの状況見込み・市	♪析(事業開始 品変化や今後の 「民意向など)	東日本大震災から4年が経過し、市民の震災への備えに対する意識が低下しつつ ある。旧耐震以前の建物の早急な耐震診断、改修が必要。											
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況											
①平成2 業の成界	6年度の事 艮		会を実施した。 とべ、1回増加し				に比べ	4件減	少し、4	件だ	うた	:。相	談
2成果		指标	票名称		平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	単位		算定	2根	拠	
を表す	İ		收修補助申請		7	8		件	業務耳				
指標	ii iii	無料耐震相	談会実施回数		5	4	5	回	業務耳	又得			
③事務事		平成25年度決算	平成26年度決算	平原	成26年月	度決算	(事業費	(1)の主	な内訳	平月	₹27₫	Ŧ度 <sup>·</sup>	予算
事業費(-	千円)	4,081	2,132		強額(千	円)		内容				7	7,180
	出金(千円)	2,037	1,063			2,132	耐震改	攻修等	事業				2,970
	出金(千円)	791	421									1	,350
	その他(千円)	0	0	_									0
	<u>才源(千円)</u> i. t会言せ	1,253	648	_						Ļ		- 2	2,860
IV 評価 ①課題( る現状な	目的に対す	耐震相談会へ	の参加者向上										
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 2普通		v 総合	評価	6精	查•	検証
	平価の理由	平成25年度かが必要なため。					領や補	助内容	等の補	制力	方法	の楨	討
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実		ナる				-	b N= + + + +	, , ,			
①平成2	6年度の計画	·耐震診断無料 ·診断、改修費		計画	平 事業費		度事業 予算額	費の物	大況(単		千円 算額		
	対する事業実績	耐震診断7件 相談会実施回 完	改修6件		7,180		当初 H25⇒26繰越	7,180	2,132	H25	から <sub>操越</sub>		0
③達成物	大況	完	7	Į	,,130	,,100	佣止		2,102	現年	₽分		2,132
④未完了	・非着手の理由			平成2	7年度への	)繰越額(単	流用・充当						

事務事業名 施設建設監理に要する経費 一	会計										
政策 22快適な暮らしの環境をつくります 担		款	項	目	多額経費						
WWW DEED TO A STORE THE PROPERTY OF THE PROPER	一般	8	1	3							
施策 221良好な住宅の整備 🖽	旦当課室	建築	单住!	- 宅課	=						
	住宅の整備 担当課金長 浮ケ谷 勝美										
I 改革·改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)											
①前回 の評価 く、少ない人員で事業に対応する上で25年度に導 で掲げ 入した工事図面電子データーを活用し、依頼部局 との協議調整を行い業務の効率を図る。 ②①に 即係機関しの調整はお業を原えデーターを 改革・改善との事前の協議	設改修の依頼事業が多 他にも修繕内容につい 多いことから、関係部局 協議調整を行うとともに )不良がないよう適切な ていく。										
Ⅱ 事務事業の目的・概要											
①目的 対象 市長部局が管理する施設 意図(対象をどう 放設の新築及でするのか) 施設の新築及であるのか) おいまま では、 これでは、 こ											
②事務事業の概要 他課から依頼を受けて行う営繕業務											
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 対する改修は必須であり今後も継続していく。	が、旅	施設(	の老	村	とに						
Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況											
①平成26年度の事 業の成果 年間40件の依頼事業に応え、施設建設に係る市民サービスの	の向_										
	立 算定根拠										
指標名称 平成24 平成25 平成26 単位 第 中度	算定机	艮拠	_, _	ic.							
②成果     年度     日本	算定机 業務耳			<i>1</i> こ。							
②成果     i     16     36     40     件     対       を表す ii     依頼事業実施件数     16     36     40     件     対				/c.							
②成果     i     16     36     40     件     対       を表す     ii     iii     iii     iii     iii	業務耳	取得			マ 竺						
②成果 i 伝統石が 年度 年度 年度 単位 学 を表す i 依頼事業実施件数 16 36 40 件 第 指標 ii iii	業務耳	取得									
②成果 を表す	業務軍	取得			<mark>予算</mark> 217						
②成果     i     (依頼事業実施件数)     16     36     40     件     対       指標     ii     iii	業務軍	取得									
②成果 を表す	業務軍	取得									
②成果     i     (な頼事業実施件数)     16     36     40     件     対       指標     iii     iiii     コスト     平成25年度決算     平成26年度決算     平成26年度決算(事業費)の主な事業費(千円)     中央     中	業務軍	取得									
②成果     i     お付売 日本度     年度     年度 <td>業務軍</td> <td>取得</td> <td></td> <td></td> <td>217</td>	業務軍	取得			217						
②成果     i     (な頼事業実施件数     16     36     40 件     対       指標     ii     iii     iii     iii     a     40 件     対       ③事務事業のコスト     平成25年度決算     平成26年度決算     平成26年度決算(事業費)の主な事業費(千円)     本額(千円)     内容       国支出金(千円)     119     営繕刊行物単価系       県支出金(千円)     市債その他(千円)     194       一般財源(千円)     240     194	業務軍	取得			217						
②成果	業務耳 内訳 利用	平成	ξ27 <del>4</del>	<b>丰度</b>	217						
②成果     i     (な頼事業実施件数     16     36     40 件     対       指標     ii     iii     iii     iii     iii     iii       ③事務事業のコスト     平成25年度決算 平成26年度決算 平成26年度決算 (事業費)の主な事業費(千円)     194     金額(千円)     内容       国支出金(千円)     119     営繕刊行物単価利       県支出金(千円)     194     194       IV 評価・検討     194     194       ①課題(目的に対する現状など)     施設の老朽化が進み、修繕の相談が増えている。	業務軍	平成	ξ27 <del>4</del>	<b>丰度</b>	217						
②成果	業務耳 内訳 利用 v 総合	平成	ξ27 <del>4</del>	<b>丰度</b>	217						
で表す   で表されたが   で表されたが   で表されたが   で表されたが   で表されたが   で表されたが   で表されたが   で表述を   である	業務耳 内訳 利用 v 総合	平成	6精	<b>丰度</b>	217						
②成果 を表す i	業務耳 内訳 利用 v 総合	平月 評価	6精	<b>車度</b> 査・	217						
1	業務耳 利用 ×総合 況(単	平成 平成	6精 千	<b>車度</b> 査・	217						
で表す   「は	業務耳 内訳 利用 v 総合	平月 評価	を	<b>車度</b> 査・	217						

_	<u>.</u>	<del>*</del> 成27年度 銷	で谷市事務事	耒	<u> </u>	(争仮)	(惊华	计侧型	ζ)				
事務	務事業名	市営住宅の管理運営に要する経費							会計一般	款 項	_	多額 経費 1	
	政策	22	快適な暮らしの	)環	境をつ	くります			担当課室	建築值	主宅記	課	
	施策		221良好な	主主	の整備	莆			担当課室長	浮ケ名	\$ 勝	美	
I 改革	• 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	t-X	りの方気	<b>新</b> )							
1前回						157							
の評価 で掲げ た内容 ②①に	ムを利用した口もに、滞納者にな指導をする等	き家賃納入につ  座振替への誘導  ついては職員が    でしていないないないないないない。	を頻繁に行うとと 直接きめ細やか る向上を目指す。	<ul><li>③平成27年 度に取組む 改革・改善 滞納者につい</li></ul>				き続き家賃納入につい テムを利用した口座振 な頻繁に行うとともに、 いては職員が直接され					
基づく 取組み 結果	で現状維持と	年4月30日現在の徴収率は94.4%					細やかな指導をする等徴収率の らなる向上を目指す。						
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要											
①目的	対象		‡給及び市営住宅に付随する						主環境改善(高齢化対策 推持管理及びそれらのため 責収入				
②事務事	事業の概要	市営住宅の施	設等の適切な約	推持	⋮管理及	なび適な	別な入月	居者管	理				
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 民意向など)	して位置付けてい	ルた昭和47年よいるが入居希望: き要望(高齢化対	者数	はほぼ	横ばい	か減少	傾向で	ある。ブ	居者が	らは	施設	
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況											
	6年度の事	施設の適切な維持管理を行うためには適切な使用料収入の確保が必要であるが、 今年度の使用料は平成27年4月30日現在で(38,551)千円の収入があった。(収入 率94.4%)											
②成果		指標名称			平成24 年度	1 100							
を表す	i	収	!入率		95.1 9		6 94.4 %		業務耳				
指標	ii iii												
③事務事	業のコスト	平成25年度決質	平成26年度決算	平	成26年	度決質	(事業者	か)の主	な内訳	平成2	7年度	予質	
事業費(=		12,346					( )	内容	О-1 3д/ (	1 //4=		3,855	
国支出	出金(千円)	12,040	11,010			7.063		修繕費	,			0,000	
	金(千円)					7,000							
	・の他(千円)												
	才源(千円)	12,346	11,318								1	3,855	
IV 評価	·検討												
①課題(る現状な	目的に対す	細やかな対応が 付けであるがゆ とは言い難い状	申込資格の所得 必要。また、入局 え新規入居者に 況となっており、	居者 つい 今ま	の高齢 いても福 での管	化等が 祉的な 理手法	進み、ま 色合いが では支	た住宅が濃く良	セーフ 好なコ	ティネッ ミュニテ	トの化	立置	
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 2普通		公平性 効率性		2普通 2普通		v 総合	評価	5改	善善	
③上記評	平価の理由	国は公営住宅	を住宅セーフテ 討を継続する必				量付けし	ており	り、徴収	方法0	)見画	直しも	
V 多額	の経費を要す	る事業等の「事	『施計画」におい	ける	達成状	況							
	6年度の計画						度事業		犬況(隼				
①十八Z	0十及の計画			計画	画事業費		予算額			決算			
	対する事業実績					0	当初 H25⇒26繰越		0	H25か の繰起			
③達成物	大況						補正		ľ	現年為	分		
④未完了	・非着手の理由			平成	27年度への	)繰越額(単	流用·充当 i位;千円)						
								· <u></u>	<u> </u>		_		

取策   22快適な暮らしの環境をつくります   担当課業   建築住宅課   建築住宅課   施策   221良好な住宅の整備   担当課業   建築住宅課   連当課業   建築住宅課   連当課業   建築住宅課   連当課業   建築住宅課   連当課業   建築住宅課   連当課業   建築住宅課   連当   連当   連当   連当   連当   連当   連当   連			平成27年度 鍜	ででいる。	未	许ш衣	(争仅)	(保华	計逥衣				夕蛇
一般   1   1   1   1   1   1   1   1   1	<b>車</b> 彩	<b>X</b> 車業夕		事命化事業					会計	款項		多 経費	
放棄・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)	<b>尹</b> 你	<b>为学</b> 未石		印名任七文	力!	ψ TL <del>TP</del> :	*			一般	8	5 1	0
1 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策) ①前回 市営住宅長寿命化計画に基づき事業を実 た内容 ②①に 基づく 内容	,	政策	22	快適な暮らしの	)環	境をつ	くります	担当課室	建築住宅課				
① 可加		施策		221良好な <sup>ん</sup>	住宅	この整備	莆			担当課室長	浮ケ谷	勝	美
の評価		•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施するが	: X	の方策	₹)						
接東として実施事業が実施計画と異なり、 予算の関係上26年度準備期間、27年度より 事務事業の目的・概要  ①目的 対象  市営住宅及び附属施設  市営住宅の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を図り、市営住宅の長寿命化を図る。  ③環境分析(事業開始となった。  ②事務事業の成要  つコトの状況  ①中成26年度の事業 の成果  ②成果  「市営住宅市地賃貸借契約の更新を完了させた。  ②成果  「市営住宅で修工事等実施金額 52.797 3.377 4.045 千円 業務取得  「前別の世界で、「中では25年度決算・平成26年度決算・事業費・の主な内別・平成27年度予算 事業費(千円) 「現立出金(千円) 「現立出金(千円) 「現立出金(千円) 「現立出金(千円) 「現立出金(千円) 「現が関係を持つ。 「おびして、「おびらの工事となるため施工に困難を伴う。 「お関係を持つ。」 「おびらの工事となるため施工に困難を伴う。 「おびして、「おびらの工事となるため施工に困難を伴う。 「おびして、「おびらの、「おびらな、「おびらの、「おびらな、「おびらの、「おびらな、「ないない、「ないないないないないないないないないないないないないないないな	の評価 で掲げ た内容	施し、必要が	あれば計画の見	見直しを行う。	度に取組む								
①目的   対象   市営住宅及び附属施設   意図(対象をどう するのか)   市営住宅の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を図り、市営住宅の長寿命化を図る。   市営住宅の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を図り、市営住宅の長寿命化を図る。   市営住宅の耐久性の向上、躯体の経年劣化の軽減等を図り、市営住宅の長寿命化を図る。   市営住宅の大力の状況   市政・日本の本が、	基づく取組み	結果として実 予算の関係 <sub>-</sub>	施事業が実施語 上26年度準備期	計画と異なり、	以中・以晋 古した行う								
	Ⅱ 事務事業の目的・概要												
を図る。   3環境分析(事業開始 からの状況を化や後の	①目的	対象	市営住宅及び								事を	完	
□ 事務事業の成果 やコストの状況	②事務事	事業の概要 -									命化		
①平成26年度の事業 の成果    1	からの状況	記変化や今後の	施設の老朽化	及び入居者の高	訴	化等に	:伴い居	<b>全</b> 建设	竟の整備	帯が必∶	要。		
次字の成果	Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況										
1		6年度の事業	粟野市営住宅/	用地賃貸借契約	りの	更新を	完了さ	せた。					
指標					÷Σ	年度	年度	年度					
3事務事業のコスト 平成25年度決算 平成26年度決算 平成26年度決算 (事業費)の主な内訳 平成27年度予算 第業費(千円) 3,377 4,045 金額(千円) 内容 9,000 国支出金(千円) 1,575 4,045 第5中書住宅用地賃貸借契約 9,000 IV 評価・検討 1,802 4,045 9,000 IV 評価・検討 3高い 1 i 市関与の妥当性 3高い 2 i i 有効性 3高い 3 i i i 有効性 3 i i 方効性 3 i i i 有効性 3 i i i 方数性 3 i i i 方数性 3 i i i 有効性 3 i i i 方数性 3 i i i i i 方数性 5 i i i i 方数性 5 i i i i 方数性 5 i i i i i 方数性 5 i i i i i 方数性 5 i i i i i i i i i i i i i i i i i i			巾呂任七以修	<u>工事寺夫</u> 肔玉	谼	52,797	3,377	77  4,045 千円  業務取得					
事業費(千円)	③ 事 終 事		平成25年度決算	平成26年度決算	平	成26年	度決算	(事業者	<b>引の主</b>	な内訳	平成2	7年度	予笪
国支出金(千円)								1		O 1 1 H/ 1	1 774=		9,000
市債その他(千円)				,			4,045	粟野市営住	宅用地賃貸	借契約更新			
1,802   4,045   9,000													
Type													0.000
<ul> <li>①課題(目的に対する現状など)</li> <li>②評価</li></ul>			1,802	4,045									9,000
3													
ii 有効性   3高い   iv 効率性   3高い   3高													
③上記評価の理由 平成25年度に長寿命化計画を策定、今後計画に基づき対応をしていくため。  V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況  市営住宅空家全面改修工事設計委託・同工事 要野市営住宅用地賃貸借契約 更新 ア算額 決算額  ②計画に対する事業実績 要野市営住宅用地賃貸借契約 更新 ※その他の事業については平成25年度末に長寿命化計画策定完了、結果として実施事業が実施計画と異なり、予算の関係上26年度準備期間、27年度より事業開始となった。  ③達成状況 完了 4045	②評価									v 総合	評価 6制	情査	∙検証
V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況         ①平成26年度の計画       市営住宅空家全面改修工事設計委託・同工事 要野市営住宅用地賃貸借契約 更新       平成26年度事業費の状況(単位:千円)         ②計画に対する事業実績 深野市営住宅用地賃貸借契約 更新 ※その他の事業については平成25年度 末に長寿命化計画策定完了、結果として 実施事業が実施計画と異なり、予算の関係上26年度準備期間、27年度より事業 開始となった。       当初 26911	③上記評	呼価の理由							き対応	をしてし	<u> </u>	)。	
①平成26年度の計画 計委託・同工事													
乗野市営住宅用地賃貸借契約 更新	①平成2	6年度の計画	計委託·同工事			平	成26年	養の物	状況(単位;千円)				
更新 ※その他の事業については平成25年度 末に長寿命化計画策定完了、結果として 実施事業が実施計画と異なり、予算の関係上26年度準備期間、27年度より事業 開始となった。  3達成状況 完了 第26911 26	→ 1%20千皮の計画			<b>地貝貝</b> 佰奖約	計画	画事業費		予算額	į		決算	額	
開始となった。 <ul><li>③達成状況</li><li>完了</li><li>補正</li><li>の 流用・充当</li><li>現年分</li><li>4045</li></ul>	②計画に対する事業実績		更新 ※その他の事業につ 末に長寿命化計画策 実施事業が実施計画	いては平成25年度 定完了、結果として 正と異なり、予算の関	2	6911	26911			4045			0
②未完了・非着手の理由	<u> </u>	<b>2</b> 2 П	開始となった。										
平成27年度への繰越額(単位:千円)			元	1							現年分	} 4	1045
	少不元」	か月十切理出			平成	27年度への	D繰越額(単	道位;千円)			0		